

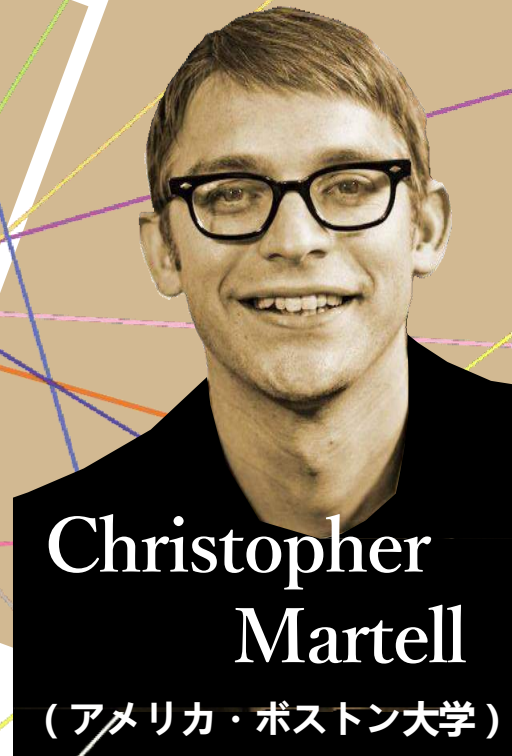
Tony
Burner

(ノルウェー・
サウスイーストノルウェー大学)



菊地 かおり

(日本・筑波大学)



Christopher
Martell

(アメリカ・ボストン大学)

教育改革における教師と研究者の役割 — 社会と教育の多文化化のなかで —

社会の文化的な多様化が進むと、学校教育のあり方・理念が問い直される。すなわち、多文化コンピテンシーやアクティビティズンシップに対する期待である。そこで以下の論点について日米欧の研究者で議論したい。

- (1) 多様化が進む教室で、教師の構えや教え方はどのように変化することが求められるか？
- (2) 各国の大学は、多様化が進む教室で教える教師にどのような機会を提供しているか？
- (3) 多様化が進む教室で教える教師のための研修、またそれを捉え支援する研究はどうあるべきか？

逐次
通訳あり

2018

3.10 (Sat)

13:30-17:30

広島大学大学院
教育学研究科

K102講義室